

ニューズレター雪氷北信越

No. 1 昭和63年7月5日

日本雪氷学会北信越支部発行

総

昭和63年度支部総会・研究発表会・製品発表検討会開催

昭和63年5月26日(木)13時より、長岡市農協福祉会館において支部総会が開催された。大沼支部長の挨拶の後、昭和62年度事業と決算が報告され、決算については承認された。昭和63年度の理事及び監事と支部長、副支部長、幹事長が下表のように選出された。つぎに、昭和63年度事業計画と予算案が示され、承認された。なお総会当日に機関誌「雪氷北信越」第1号が参加者に配布された(参加されない方には7月20日頃までに発送の予定)。研究発表会では14件の講演、また製品発表検討会では7件の発表があり、活発な議論が予定時刻を超過して続けられた。その後、同会館別室にて懇親会が開かれた。

※昭和63年度日本雪氷学会北信越支部理事・監事役員名簿

支部長 中村 勉 国立防災科学技術センター長岡雪氷防災実験研究所長

副支部長 梅村晃由 長岡技術科学大学機械系教授
高瀬信忠 金沢大学教授
村馬勝年 富山大学理学部教授

幹事長 早川典生 長岡技術科学大学建設系教授

理 事	阿部 勉	関越 ロードメンテナンス株式会社専務取締役
	岩井邦中	信州大学助教授
	梅村晃由	長岡技術科学大学機械系教授
	遠藤治郎	新潟大学教授
	遠藤八十一	農林水産省林業試験場十日町試験地主任研究官
	大熊 孝	新潟大学教授
	栗山 弘	北陸建設弘済会理事
	後藤 巖	長岡技術科学大学建設系教授
	下村忠一	建設省土木研究所新潟試験所長
	鈴木俊一	JR東日本新潟支社 工務部長
	高瀬信忠	金沢大学教授
	高見晋一	農林水産省北陸農業試験場農業気象研究室長
	村馬勝年	富山大学理学部教授
	中峠哲朗	福井大学教授
	中村 勉	国立防災科学技術センター長岡雪氷防災実験研究所長

長岡技術科学大学 小池 (0258-46-6000 内6124)
又は、長岡雪氷防災実験研究所 中尾 (0258-35-7522)

他

日本雪氷学会創立50周年記念事業

雪氷情報センター構想検討ワーキンググループ発足のお知らせ

「雪氷」誌上では既に御存知のことと思いますが、50周年事業の一環として、雪氷情報センターを学会内へ設置のための構想を練る作業が盛り込まれております。50周年事業実行委員会が、そのためのワーキンググループを設置致しました。

ワーキンググループ 委員長 楠 宏

幹 事 藤井理行

同構想に関心を持つ会員は、ふるって御参加下さい。

本件に関する問合せ先〔北信越支部〕中尾正義(防災センター)

☎ 0258-35-7522

説

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、毎偶数月15日にニューズレターを発行することになりました。原稿は、規定の書式(できるだけワープロ原稿)で各事業日程に間に合うように毎偶数月10日までに事務局に送付され、事務局では、原稿を取りまとめ、所定の用紙に貼付け、印刷、発送をいたします。(ただし、No.1は7月5日発行、No.2は8月5日原稿締切・8月10日発行)

※書式 幅16.5cm

1行: 33文字, 行数: 制限は設けないが手短に

字間: 2.5mm, 行間: 5.4mm

ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡技術科学大学建設系 小池俊雄 電話0258-46-6000 内線6124 まで

(JR 鉄道総合研究所), 川田邦夫(富山大学), 河田脩二(金沢大学), 小池俊雄(庶務幹事)(長岡技術科学大学), 鴻野繁和(日本気象協会長野支部), 佐藤和秀(長岡工業高等専門学校), 白樫正高(長岡技術科学大学), 杉森正義(福井県雪対策技術センター), 田村盛彰(長岡工業高校), 中尾正義(国立防災科学技術センター), 名古屋英二(富山県庁水雪対策室), 福岡祐介(会計幹事)(長岡技術科学大学), 丸山敏介(新潟電気株式会社), 鷺尾 靖(新潟県企画調整部 克雪・地域振興課)

学

『雪はどのように融け、どのように河川に流出するか』

— 第1回 富山地区学習会の開催のお知らせ —

日時: 昭和63年7月14日 18時30分～20時

場所: 富山県知事公邸

講師: 北海道大学低温科学研究所 小林大二 教授

問い合わせ先: 富山大学理学部地球科学科雪氷学講座
対馬勝年 教授(0764-41-1271)

共

講演会のお知らせ

下記の講演会を防災センター長岡雪氷防災実験研究所との共催で開催する予定にしています。詳細は未だ決っていませんが、決定後次のニュースレターにて再度御案内致します。

日時: 8月19日(金) 16時～17時(暫定)

場所: 長岡技術大学(暫定)

講師: Dr. R. Frederking (カナダ国立科学院、建築研究所)

題目: 未定

講師は長年に亘ってカナダで氷工学、特に氷の力学や氷と建造物との相互作用の研究にたずさわってきた方で、8月22日から1週間の予定で札幌で開かれる国際水理学会(IAHR)出席のため来日されるのを機に、長岡を訪問されるものです。カナダにおける氷工学研究のお話を聞けるものと思います。この件に関する問合せは、

長井真隆	富山市科学文化センター館長
早川典生	長岡技術科学大学建設系教授
前田博司	福井工業大学教授
正橋 満	北陸電力株式会社技術研究所 課長
水野雅男	地域振興研究所研究員
村山 実	新潟産業大学教授

監 事	町田 誠	町田建設株式会社社長
	渡辺成雄	元農林水産省林業試験場十日町試験地主任研究官

理

昭和63年度第1回理事・幹事合同会議開催

昭和63年6月27日(月)16時より、長岡工業高等専門学校第二会議室において、第1回理事・幹事会が開催された。まず、顧問・評議員の委嘱について審議され(名簿は次号ニューズレターに掲載予定)、63年度幹事名簿が下表のように報告された。次に総会の議決に基づき、昭和63年度事業計画の実行のための具体案が審議された。講演会は年3回、石川県、富山県、新潟県で開催され、それぞれ担当は水野理事・高瀬理事(石川)、川田幹事(富山)、早川理事(新潟)。講習会は新潟・富山にて積雪断面観測の開催し、担当は田村幹事(新潟)、川田幹事(富山)。見学会は富山県と新潟県を中心に2回開催され、それぞれ担当が飯田幹事(富山)、小池幹事(新潟)。また講演会と比較すると小人数でディスカッションの比重を増やした学習会が、福井で1回(担当杉森幹事)、石川で1回(担当水野理事、高瀬理事)、富山で5回(担当石坂幹事、対馬理事)、新潟で3回(担当遠藤治郎理事)が計画されている。機関誌『雪氷北信越』の2,3号の発行については編集委員会を作って対応し、2号は11月中に発行し、3号は64年研究発表・製品発表検討会時に発行を予定する。また『ニューズレター雪氷北信越』を毎偶数月15日に発行し(第1号は別)、全会員に配布し、支部の事業予定、案内、報告をお知らせすることとなった。共催・後援については、国立防災科学技術センター長岡雪氷防災実験研究所との共催で、フレッド・キング博士(カナダ)の講演会を開催することが決定された。つぎに日本雪氷学会50周年事業について本部実行委員会、支部実行委員会報告があり、写真展が64年1月6日～15日(長岡美術文化ホール)、1月21日～30日(富山科学文化ホール)講演会が10月28日(ニューオータニ長岡 NCホール)、10月31日(富山県民会館)で開催されることが報告された。

※昭和63年度日本雪氷学会北信越支部幹事名簿

幹事長 早川典生 長岡技術科学大学

幹 事

飯田 肇(黒部市吉田科学館)、石坂雅昭(富山市科学文化センター)、石平貞夫(建設省土木研究所新潟試験所)、和泉 薫(新潟大学)、遠藤 徹